



市報

みなみ魚沼

予算
特集号

市民のみなさまへ

日ごろより市政にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

新年度が始まり、市の各種事業もスタートしております。ここでみなさまに「平成30年度予算特集号」をお届けし、今年度の予算の概要と主な事業内容についてお知らせいたします。ご一読いただき、市政に対して一層のご協力とご提言をいただけましたら幸いです。

平成30年度一般会計予算は前年度比96.7%、10億2,300万円の減額となる299億2,000万円で編成しました。

政府は今後の経済財政運営に当たり、引き続き「経済再生なくして財政健全化なし」を基本とし、保育の受け皿整備など「人づくり革命」の推進や、「生産性革命」の実現に向けた企業による設備や人材への力強い投資、研究開発・イノベーションの促進など重要な政策課題について、必要な予算措置を講ずるとしています。また、東京一極集中の是正、若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現に向け全力で取り組むことで、地域が持つ魅力を最大限引き出し、自助の精神を持って取り組む地方を強力に支援していくともしています。

南魚沼市においては、これら国の経済財政運営の考え方を踏まえ、総合計画の将来像である「自然・人・産業の和で築く安心のまち」の実現に向け、「総合計画主要施策の着実な推進」と「財政健全化と持続可能な財政構造の構築」を念頭におき、「若者が帰ってこられる、住み続けられるふるさと 南魚沼」をテーマとして、平成30年度の予算編成を行いました。

今年度は子育て世代への支援を強化し、子ども医療費の個人負担完全無料の対象を拡大します。また、保育園や学童保育の環境改善に引き続き取り組むなど、多様なニーズに応えてまいります。昨年度からふるさと納税返礼品の取扱いを開始し、全国のみなさまから多額の応援をいただいております。今後もさらなる応援がいただけるよう、南魚沼の魅力在全国にPRしてまいります。水道料金については、公約であった値下げに向け新たな減免対応を開始し、市民負担の軽減を図ります。

高齢化社会の進展と人口減少問題への対策が最大の課題とされる中、市税は減少傾向にあり、地方交付税は合併による特例措置が段階的に縮減されるなど、歳入の減少が続いております。実質公債費比率などの健全化判断比率は県内・全国市町村の中でも高い水準にあり、財政健全化は喫緊の課題であります。財政の健全化を着実に進めながら、行政サービスの水準を堅持し、新たなニーズに対応していくことは非常に困難なテーマではありますが、徹底した経費の節減、施設の長寿命化と合理化の推進による投資的経費の削減、ふるさと納税をはじめとする新たな歳入の確保に積極的に取り組み、みなさまが安心して暮らせるまちづくりと持続可能な財政運営を両立するため、職員一丸となって取り組んでまいります。市民のみなさまからも、南魚沼市の発展に向けて引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。



南魚沼市長 林 氏男